

## 横浜市 茅ヶ崎小 学校 平成27年度版 中期学校経営方針 (平成25年4月～平成28年3月)

### 学 校 概 要

創立27年、校長：岩本 悦子、副校長：山内 容子、学級数25 (個別3含む)、児童数：707名、茅ヶ崎中ブロック

### 学 校 教 育 目 標

「茅ヶ崎のまちに学び自分らしさを創る子」を育てます。

- 自ら問題を発見し、解決する過程を深める子を育てます。(知)「やってみよう」
- 地域の人や自然とのふれ合いを大切に、より豊かな心を培う人間関係を育てます。(徳)「ふれあおう」
- たくましく健康な体をつくり、進んで運動する態度を育てます。(体)「きたえよう」
- 地域と社会の変化に柔軟に対応し、自分から豊かに表現できる子を育てます。(公・関)「あらわそう」

### 学 校 経 営 中 期 目 標

- 学校教育目標を実現するために、活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。
  - ・規範意識と自己統制力を身につけるとともに、「自尊感情」「自己有用感」を感じることができ子どもを育成します。
  - ・教師力・授業力の育成と向上を図ります。
  - ・地域の人々・自然・施設に関わる「体験学習」を通して地域協働教育の充実を図ります。
  - ・校舎内外の美化と安全確保に努めます。

#### 学校経営 中期目標 設定理由

茅ヶ崎のまちに開校当時から根付いている自然環境と、本校の教育活動に非常に協力的な地域の方々に囲まれた学校であるので、そこにある自然や人々と触れ合いながら、自分自身を高めるために進んで学習する児童を育成します。

### 小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

#### 共通目標

魅力ある茅ヶ崎中学校ブロックづくり～教科指導における小中連携の推進～  
「ちいきとがっこうがささえあってきずいていく」(ブロック合い言葉)

#### 自校の取組

小中学校の教職員が連携・協働して子どもの成長の様子や情報をきめ細かく共有し、授業の見直しを図りながら、小中の接続ギャップから生じる不登校問題や社会的スキルの育成等、今日的な課題の解消を目指します。

### 共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
学習のねらいや内容を明確にし、学習の質を高め「分かる楽しい授業」の実現に努めます。問題解決学習を通して協同的学びを大切にするとともにだれもが安心して授業が受けられるようにします。	道徳の時間はもとより、あらゆる教育活動を通して、自他を大切にする心情や態度を育てるとともに、自他の違いを認め合える子どもを育てます。	なわとびタイム・ランニングタイム・特設スポーツクラブ等を通して、健康な体作りと体力の向上を目指します。

### 重 点 取 組 分 野

4 児童指導	特別支援教育	研究研修	組織運営
挨拶をしたりルールを守ったりできるよう全職員で共通理解を図り、学年に応じた指導を行います。 いじめについては丁寧な実態把握に基づく早期発見・早期対応に努め、対応方針を確立します。	児童支援専任を中心とした組織的な対応、特別な教育的支援を要する子どもへの共感的な児童理解を大切に、個に応じた支援体制を充実させます。	重点研究を中心に授業研究を行い、「自分の課題を見つけ、友達と課題を解決しようとする子の育成」に向け、言語活動の充実と教師の授業力の向上を図り、授業改善を推進します。	校務分掌の内容を明確にし、それぞれの係で連絡・調整を図りながら、職員全員が協働できる体制作りをさらに進める。

### 人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

- メンターチームを充実させるとともに、充実した学年研を実施し「学級担任」から「学年担任」としての意識を高め、互いの指導力の向上を図ります。
- 「安心・安全・安定」した学校生活が営まれるように、校内研修を計画的に実施し、教職員の人権教育・児童指導、危機管理対応能力を向上させていきます。
- 会議の重要性、効率性を追求し、子どもに対応できる時間を増やします。